

第5回多摩地区5国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成29年11月1日(水) 電気通信大学 本館5階会議室(1)	
委員	委員長 林 静雄 (大学名誉教授) 委員 清水 至 (公認会計士) 委員 竹岡 八重子 (弁護士)	
審議対象期間	平成28年7月1日～平成29年6月30日	
抽出案件(合計)	5件	<p>(備考)</p> <p>今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。</p> <p>抽出案件の個別審議は、委員3名により審議を行った。</p> <p>その際、委員会資料「資料8-①～⑤」に基づき、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。</p>
工事(小計)	4件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回 答
<p>1. 配布資料の説明並びに、委員長及び各委員紹介を委員会庶務担当の電気通信大学が行った。</p>	
<p>2. 建設工事および設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>2-1). 一般競争入札方式</p> <p>【本郷サテライトエレベーター改修工事：東京外国語大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後何年経った建物か。また既存のエレベーターはどこで作ったものか。 ・ 入札参加業者が日立ビルシステムだけだったが、日立以外ではできない工事ではないのか。 ・ 競争参加資格に「本工事におけるエレベーター設備の工場製作に係る設計、工程管理、検査・試験に関する自らの体制を証明出来ること」とあるが、どういう意味か。 ・ 入札希望者に事前に現場は見せたか。 ・ 業者に事前に現場を見てもらっていないのが入札参加業者が1者になった理由の一つではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後24年経った建物で、既存のエレベーターは日立製である。 ・ 他社でも工事は可能であるが、結果的に入札参加業者は日立ビルシステムだけとなった。 ・ エレベーターを自社の工場で作成できる業者ということである。 ・ 見せていない。 ・ 図面だけでも工事の内容は把握できると考える。一般競争入札の前に工事希望型競争入札を行い、16者に照会したが、入札参加希望者が1者だったので、入札を中止したという経緯がある。入札に参加してもらえなかった理由は、工事期間に担当できる主任技術者が配置できなくなったということだった。工事時期として東京での工事が集中したため、入札参加業者が1者になってしまったのではないと思われる。

意見・質問	回 答
<p>2-2). 一般競争入札方式</p> <p>【附属小金井中学校2・3学年普通教室他照明器具改修工事：東京学芸大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が約50%とは、予定価格の積算方法が適切にされていないのではないかと。なぜ予定価格と見積金額に開きがあったのか。 ・LED器具の単価差による落札率の低下は、今までの入札監視委員会でも何度か同様の事例があった。一般的な照明器具の査定率はもっと厳しくすべきではないか。 ・競争参加資格の要件に施工延床面積510㎡以上の施工実績を有することとあるが、一般的なLED器具への取替え工事に施工延床面積の実績を求める必要があるのか。 ・「評価に関する事項」の「評価項目」に「地域貢献度」という項目がある。公共工事の評価に「地域貢献度」が入っている理由はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LED器具の単価が、予定価格と落札業者の見積金額とで開きがあり、落札率が下がった。落札業者に見積金額が安いことについて理由を聞いたところ、LED器具が代理店から安く納入できることになったことと、応札できるように、経費を下げたということだった。 ・査定率を厳しくしすぎると落札者がいなくなることも考えられるので、慎重に検討しなければならない。 ・ある程度の施工実績は必要と考え、施工面積から、器具の個数が判断できるので、施工能力を知るために面積の施工実績を求めた。 ・もとは国土交通省のガイドラインにあったかと思う。 <p>後ほど、事務局である電気通信大学より、過去に文部科学省から各大学に送付された総合評価落札方式に係る文書において、評価項目について、選択項目として「地域貢献度」が掲載されていることを説明。</p>

別紙

意見・質問	回 答
<p>2-3). 一般競争入札方式 【府中幸町団地基幹整備（電気設備）工事：東京農工大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工体制確認型総合評価落札方式ということで、最低基準価格を下回る入札価格の業者に資料の提出を求めたが、資料が提出できない業者や資料に不備があったことで入札無効になった業者があるとの説明があったが、それが記録に残るようにした方がよいのではないか。 ・評価項目に配置予定技術者の能力について評価しているが、入札希望者は事前に配置予定技術者を決めて通知してくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討する。 ・入札希望者は、配置予定技術者を決めて通知し、その施工実績を証明する資料を提出してもらっている。
<p>2-4). 一般競争入札方式 【(国立) 総合研究棟（社会科学系）改修機械設備工事：一橋大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者から、工事がより安くなるような提案はなかったか。 ・入札参加者が1者のみであった理由はなんだと思われるか。 ・年度末の発注となった理由は何か。 ・施工実績を求める期間が、他大学では平成13年度以降としているが、貴大学では平成18年度以降としているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、VE提案を求める工事ではないので、特になかった。 ・年度末の発注であったため、工事が集中しており人手がなく、参加できないという業者があった。 ・本工事は、補正予算で行った工事であり、予算の決定が12月であったので、発注が年度末となった。 ・入札業務に不慣れな職員が入札関係書類を作成したため、誤ってしまった。

別紙

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事内容に照らし、施工実績対象を「教育・研究施設」に限定する必要は無かったのではないか。 ・ 発注見通しを早めに公表すれば、入札参加業者も増えるのではないか。発注見通しは公表しているか。 ・ 地域貢献度を評価項目としていないのはなぜか。 ・ 昨年度の入札監視委員会でも年度末発注工事による1者入札であったと記憶している。計画的で迅速な発注を心掛けて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が僅少となった要因の一つとして限定を付けてしまったことが考えられるかもしれない。本年度は、入札参加者数が適切に確保されるよう、施工実績等の入札参加条件設定について緩和して公告した。 ・ 文部科学省からも照会があり、公表している。 ・ 総合評価落札方式では地域貢献度は評価項目の必須項目ではなく選択項目であり、特に評価の必要があるとは考えなかったので、評価項目とはしなかった。 ・ 検討していく。
<p>【(調布) 総合研究棟 (光学系) (建築) 設計業務：電気通信大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロポーザルの準備にどのくらいの時間がかかったか。 ・ 添付資料の建設コンサルタント選定委員会議事要旨の業務名称に間違いがある。議事録として正確に記録して欲しい。 ・ 入札希望業者から提出のあった技術提案書の評価について、評価者である4人の建設コンサルタント選定委員の評価にばらつきが少ないが、調整などを行ったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省のガイドライン等を確認し、2ヶ月ほどかけて準備をした。 ・ 今後は間違いがないようにする。 ・ 特に調整はしていない。

別紙

意見・質問	回 答
<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 文部科学省で行われている入札監視委員会の点検事項の書式が変更になった旨、林委員長より説明があり、資料が配布された。	<ul style="list-style-type: none">・ 各大学で持ち帰り、書式の変更に向けて問題がないか確認することとなった。

講評

特に問題点はない。5大学の努力により、これまでの問題点は改善されてきている。これは、入札監視委員会を毎年継続して実施することによる効果だと思うので、今後も継続していただきたい。

なお、限られた5大学だけでは情報が偏ってしまうこともあるので、今後は他大学との情報交換等も検討されたい。